

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 福井県勝山市立鹿谷小学校（※正式名称を記載）

種 別 ☐ 保育園・幼稚園    ☒ 小学校    ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>  
☐ 中学校    ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup>    ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学    ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫 \_\_\_\_\_）

※注 1 義務教育学校を含む    ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒 911-0843

福井県勝山市鹿谷町本郷 3 4 号 1 番地

E-mail sikatanisyo@edu.city.katsuyama.fukui.jp

Website \_\_\_\_\_

児童数    男子 38 名    女子 42 名    合計 80 名  
            児童の年齢 6 歳～13 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要    ※チェック事項 1-1, 2-1 に対応

当校は、『豊かな心をもち、すすんで学ぶ、健康でたくましい児童の育成』を教育目標として、E S D を主に環境教育と捉え、E S D の実践を通して『どんな問題が発生しても、学んだことを活用し、自主的に解決案を考え、行動する「真の学力」と「生きる力」育成』を目標とした。

具体的には、「1 環境から学ぶ」、「2 環境に気づく」、「3 環境を理解する」を柱に、①セイタカアワダチソウ除去活動、②ホタルが育つ環境を守る活動に係わる教育、③米作りに係わる学習、④「恐竜ひょうたん」に係わる学習を行った。

### ① セイタカアワダチソウ除去活動

9 月 26 日（火）13:30～15:45

活動場所は、事前に全校でセイタカアワダチソウが生息している場所を調査し、セイタカアワダチソウが多いところを地図に記入し決定した。駆除活動は、全校を縦割り班に分けて行った。活動後、児童から「セイタカアワダチソウを減少させ自分たちが住んでいる鹿谷町の自然を守れてよかった。」

「これからも鹿谷町の自然を大切にしていきたい。」などの感想を聞くことができた。同時期の調査結果を見ると 2 年間減少していることが分かった。

## ② ホタルが育つ環境を守る活動に係わる教育

5月～6月上旬

『勝山市浄土寺川のホタルを守る会』の会長である松山氏から5年生が『日本に住むホタルの種類』や『ホタルの一生』について教えていただいた。去年ホタルについて学習した6年生によってホタルが見られる川の環境を守る立て札が設置された。さらに6月10日（土）18:00～20:30には鹿谷町づくり協議会主催でホタル観察会が開かれた。子どもたちから「環境を守るために何が必要かしっかり考えたい。」という感想を聞くことができた。

## ③ 米作りに係わる学習

社会科で日本の農業について学んだことを発展させ、学校横にある1aの学校田で毎年、本郷生産組合の協力を得て、米作り体験をしている。平成29年度は5月18日（木）に田植えを、9月19日（火）に稲刈りを体験した。鹿谷町は『勝山市の米所』であり、この機会に5・6年の児童全員が米作りを体験できた。また、稲架がけから脱穀の体験もした。収穫した米は、日頃お世話になっている地域の方に感謝祭でプレゼントしたり、児童全員でいただいたりした。今年度は県の農業試験場の「米作りに関する出前授業」で日本の農業について考えることもできた。

## ④ 「恐竜ひょうたん」に係わる学習

鹿谷町づくり協議会の協力を得て、5月25日（木）ミニポットに『恐竜ひょうたん』の種蒔き、6月21日（水）学校裏の『恐竜ひょうたん畑』に苗植えをした。夏休み中、5年児童による水やりが続けられ、9月に収穫。その後、『恐竜ひょうたん』の種を取り乾燥させ、児童によって着色、模様を付け、インテリアとしての飾りを作った。珍しい形のひょうたんを栽培し話題を呼ぶとともに、地域の人と児童の交流を深めることができた。



① 縦割り班に分かれて全校で取り組んだ地区のセイタカアワダチソウ駆除活動



② ホタルが育つ環境を守るための看板を設置する6年生



③ 枠回しから体験し5・6年生はどろんこになって取り組んだ田植え



④ 収穫した恐竜ひょうたんを水につけ種を取る作業を習う5年生

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解, 文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他( )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他( 学校行事、休日の地区での活動 )	

#### エ. 使用した教材（書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名）

- ・ 外来種について（ウェブサイト）
- ・ 『ホタルの一生』（フレーベル館出版）
- ・ 日本の米づくり（ウェブサイト）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学年始めにスクールプランの下、今年度の学校教育計画を立てるとき、ESD 活動についても今年はどうに取り組むか話し合う。各学年の ESD カレンダーについて、昨年度の反省も考慮して歴代受け継いできた内容を参考にして各学年の担任が今年度の活動を立て、1 年間の見通しを持って取り組むようにしている。1 年後には今年度の振り返りをし、次年度に申し送りをするようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

セイタカアワダチソウの駆除活動は 5 年生の気づきにより、児童集会で 5 年生が全校に呼びかけ、調査をもとに計画を立て、全校で取り組んでいる。米作りやビオトープの掃除については、地域の人や PTA の協力を得て計画的に取り組めるよう、年度当初の年間計画に組み込んでいる。その他、『鹿の子発表会』での発表を目指して、ESD カレンダーをもとに児童の思いを大切に各学年で ESD 活動に取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教育活動全般について振り返り改善していくため、教職員については 7 月と 12 月上旬に、児童と保護者については 12 月上旬に学校評価を行っている。また、教育活動全般について、家庭・地域・学校評議会でも年 3 回話し合っている。全校で行うセイタカアワダチソウの駆除活動は、休日の地区でのセイタカアワダチソウの駆除活動に広がっている。児童集会の時、進んで感想を発表する場を設けたので人前で話すことに少しずつ慣れ、授業中も進んで発表する子が増えた。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

セイタカアワダチソウ駆除活動は、鹿谷町の環境からセイタカアワダチソウが2年連続減少している成果から、休日の地区でのセイタカアワダチソウの駆除活動に広がっている。この成果は、学校便りやブログ、公民館便りでも紹介されている。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

セイタカアワダチソウの駆除活動やホテル鑑賞会では鹿谷町公民館の、米作りでは本郷生産組合の、『恐竜ひょうたん』栽培と置物づくりでは鹿谷町町づくり協議会の協力を得ている。活動の場で作業を通して地域の方々とコミュニケーションをとり、ふれあうことができた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

勝山市の9つの小学校と3つの中学校はユネスコスクールの認定を受けていて、年に数回行われるESD担当者会で各学校の活動計画や活動内容について紹介し合う場があった。夏休みには、金沢で開催された『北陸ESDコンソーシアム』に参加した。さらに12月2日(土)に福岡県大牟田文化会館で開催された『ユネスコスクール全国大会』に参加された先生方から報告していただき、内容を知ることができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

セイタカアワダチソウの駆除活動を皮切りに，勝山インターが校区内にある学校として，子どもだけでなく地域全体で環境保全に対する意識が高まっている。E S Dを推進することで，地域の方とコミュニケーションをとる機会があり，子どもたちの豊かな感性と元気を地域の人に見てもらうことができた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

子どもたちの『セイタカアワダチソウの駆除活動』『ホタルの観察』の活動と，地域の方の協力を得て『米作り』『恐竜ひょうたんの栽培と置物づくり』に継続して取り組みたいと考えている。また，今年度の振り返りをもとに，平成 30 年度のスクールプランの下，新担任で各学年のE S Dカレンダーを見直し，見通しを持って取り組んでいきたい。